

会員交流会(電気・機械グループ)開催

出願届出、外国出願、審査請求、維持年金管理などの帳票類の紹介

会員交流会(電気・機械グループ)が1月14日に住友クラブで開催されました。当日は13名が参加し、「出願届出・譲渡証・外国出願問合せ・審査請求問合せ・維持年金問合せ等の発明部門や社内に問合せ等をする際に用いられている帳票の紹介」のテーマで、グループリーダーの井内龍二弁理士の司会で論議されました。

「可能であれば帳票の現物の配付」をお願いしましたので、各会員企業から自社の帳票を示しながらの説明と工夫点や悩んでいることなどが話され、それに対して活発な質疑応答が行われました。生々しい内容を詳しく紹介できないのが残念ですが、以下にその概要を述べます。

- ・出願や審査請求、維持か放棄か等への営業部門の関与の有無は様々。
- ・維持管理では、多くの企業が高額年金になる10年目を節目として重点管理。
- ・外国出願する国の基本は、販売する国、製造する国、競合会社の製造する国。
- ・外国出願の帳票には、予想される概略費用を添付しているところが多い。
- ・外国出願に関係して、この10年で大企業では大きく様変わりし、規格関連特許では100か国を超える国々へ出願するのも珍しくない。
- ・発明者が異動すると一般には放棄しにくく、「維持」の回答が多い。「維持 or 放棄判定」帳票の工夫により放棄比率を増加させ、百万円超の効果があったとの報告あり。
- ・発明者が複数の場合、発明に対する貢献度を発明者間で決めさせている企業と、貢献度を定めず均等の企業があるが、貢献度を決めさせてももめたりしないのか？
- ・帳票の電子承認化等を検討している企業もあるが、まだ紙での管理が主流。

その他、権利範囲に関係した特許の出し方や外国出願に伴う費用増の悩み等にも、リーダーの井内弁理士や他のメンバーから大変有益なアドバイスがありました。

【次回の予定】 合同会員交流会(電気・機械グループ&化学・材料グループ)

3月11日(水) 14:00~17:00

テーマは、①異議申立制度

②講演: 笠間(IDEA)氏「最新の中国知財訴訟: 非常停止スイッチ事件」

※会員交流会には、いつでも参加できます。ご希望の会員は当協会の事務局にご連絡ください。